

輝いている人を紹介します

# まちのキラリ

オリンピック正式種目としても注目を浴びるボルダリング。伊達市に全国のクライマーを魅了する岩場があることをご存知でしょうか。自然の資源に敬意を表しながら、楽しみ、守る、伊達のボルダリングの先駆者を紹介します。



反りたつ岩壁を体ひとつで登る（りょうぜん里山がっこう所有の岩場で撮影）

## ボルダリングの醍醐味

元々は趣味の沢登りの練習として15年前に始めました。今ではすっかりボルダリングがメインになり、週に1回は必ず登っています。

ボルダリングは、岩をどう攻略するか考えるのが楽しいですね。探究心が騒ぐというか。同じ岩でも登り方は複数ありますし、何度登っていても、その都度新しい発見があります。

ボルダリングは腕力よりもフリクション（摩擦）が大切です。私の場合は指先を岩に刺すようにピタリくっつけます。実は手は引っ掛けてい



るだけで、足の力を使って登るんです。温度や湿度でも感覚が変わるので、体をなじませて一体になって登ります。岩とお友達にならないと登れません（笑）

## 霊山との出会いとその魅力

霊山の魅力はボルダリングに適した質の高い岩が、密集しているところです。岩場に行けば一日中遊べますね。12年前に登山していて偶然見つけたのですが、岩の多さとスケールの大きさに「よっしゃー！」と思いました（笑）

土地の所有者や商工会青年部の皆さんの協力で「地元公認の岩場」になっているので

## 霊山ボルダランド開拓者

あきら  
**齋藤 暁**さん（梁川町）

自然の岩を登るボルダリングでは、最初に登頂した人が、登ったルートに名前を付ける。霊山には齋藤さんが名付けたルートをはじめ、164ものルートが存在する。（参考：伊達市商工会青年部発行「RYOZEN BOULDERING」）

ウェルカムな雰囲気なのもいとこです。全国からクライマーが来て毎週末誰かしら登っていますよ。都会の人に「うらやましい！」と言われます。すぐ近くに岩があるのは、クライマーにとつてデイズニードが家の前にあるようなものですから。本当に資源に恵まれていると思います。最高ですね！

## 身近な宝を守り、伝えたい

大人数を一気に集めるのではなく、自然とみんなが毎週来てくれる環境が理想です。マンパワーを使ってイベントをしなくても主役の岩はいつでもそこにある。気軽に、誰

でも、いつでも来られる場所にしたいです。人が入れば環境にダメージがあるので、山が荒れないように守りながら長く続くようにしたいです。46歳になったので、これからは地元に住んでいる若い人を育てたいです。コロナで遠くに行けなくても、こんなに楽しいところが身近にあることを知ってほしいですね。

「紅葉の季節が最高！」と齋藤さん。四季の移り変わりを味わえるのも霊山の醍醐味だそう。

